



# 中央ウェイ

## 3月号

### 一年を振り返って

校長 石田 節恵

多くの芽吹きをもたらす春の訪れを感じる季節になりました。令和6年度も残り1か月となり、3月19日(水)高等部3年生20名、3月24日(月)中学部3年生17名の卒業式が予定されています。卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

皆さんには、中央ろう学校での学びを振り返り、自らの成長をひとつひとつ確認し、学校生活で培った力を糧にこれからの生活に役立ててほしいと切に願っています。

中学部3年生の皆さんとは、修学旅行に一緒に行き、京都の寺社を見学し、日本の歴史と文化に触れながら学習してきました。公共交通機関を利用しながらの移動となりましたが、2泊3日の宿泊をとおして学年の友達との交流がさらに深まった様子が見られました。

高等部3年生の皆さんは、高等部2年生の修学旅行で沖縄へ行き、沖縄の自然や文化に触れながら「平和の礎」に込められた平和への願いと命の尊さを学んだことが、貴重な経験になっていることを担任から聞きました。また、体育祭や文化祭では、最高学年としての力量を発揮し、後輩を先導しながら行事を作り上げてくれました。頼もしい姿と後輩を育てようとする優しい眼差しに、参観している保護者や地域の方、そして私たち教員にも大きな感動を与えてくれました。私も、どこか懐かしく胸が熱くなったのを記憶しています。さらに、授業においては、積極的に発言したり、他の人の意見を聞いたりする中で、思考しながら意欲的に参加している姿が印象的でした。進路においては、一人一人が自身の将来について真剣に考え、悩みながらも目標に向けて取り組んできました。時折、学習室で問題集を広げて学習している様子や、長期休業中や休日に登校して、進学に向けて相談している様子も見受けられました。また、部活動での活躍や大会では、素晴らしい実績を残してくれました。「文武両道」を成し遂げるには、計り知れない努力と、己に勝る強い意志がなければなりません。限られた時間の中で、さまざまなことをやり遂げることは、体力的にも精神的に容易なことではなかったかと思います。物事には、簡単に結果が出ることと、結果に結びつくには時間がかかることがあります。すぐに結果がでなくても、諦めず日々最後まで努力しているという過程の中で得ていく力が大きな原動力となるのです。その姿勢は、後輩にもしっかりと伝わっていると確信します。

「継続は力なり」、中央ろう学校の伝統を引き継ぎ、今年度の卒業生もまた中央ろう学校の歴史に新たな1ページを刻んでくれたことに感謝し、教職員一同皆さんの活躍を心から応援しています。

保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動に多大なるご支援とご協力をいただきましたことに深く御礼を申し上げます。ありがとうございました。